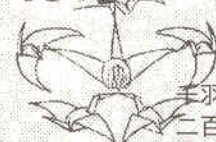


Origami Tanteidan Newsletter

折紙探偵団新聞

48号


 千羽鶴折形
二百周年

前回の問題の答え：布施知子著、新星出版社「不思議な立体の世界」に紹介されているデビッド・ミッチェルさん作のジェミニというユニット折り紙です。さて最終回は最新情報(昨年12月22日)です。

変形鶴理論は雑に言うところ「内接円を持つ四辺形なら必ず鶴を綺麗に折ることができる。また鶴を綺麗に折ることができる用紙は内接円を持つ四辺形に限られる。」となります。綺麗にというのがミソです。紙がつっぱったりだぶついたりする事を許すとどんな形の紙でも鶴らしきものが折れるからです。

普通の折り鶴では正方形の4つのカドが順に首、左翼、脚(尾)、右翼になります。そして首脚と翼の位置を交換することができます。この性質を首翼互換性とよぶことにします。

内接円を持つ四辺形用紙一枚から様々な変形鶴ができますが、首翼互換性を持つものは一つだけです。つまり首翼互換性を持つ変形鶴と内接円を持つ四辺形が1対1に対応します。

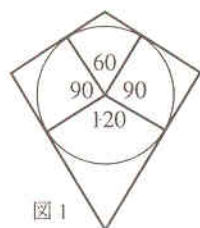


図1

内接円を持つ四辺形は簡単に作図できます。まず円を描き、任意に半径を4つ描き込みます。次に各半径に垂直な線つまり円の接線を引きます。この方法で内接円を持つ四辺形がもれなく得られます。

4つの半径の位置関係はそれらのなす角度を用いて表わすことができます。例えば図1の四辺形は(60, 90, 120, 90)という具合です(度は省略)。もちろん4つの角度の和は360です。

以上をまとめると、首翼互換性を持つ変形鶴に角度の組み(a, b, c, d)が対応することになります。

ここまでわかったと、変形折り鶴を一つ残らず得ることができ

す。① $a+b+c+d=360$ を満たす角度の組み(a, b, c, d)から導かれる四辺形に限定して鶴を折ってみればよいからです。

結果得られたものは5不等式:

- ② $-180 < a, b, c, d < 360$,
- ③ $0 < a+b < 360$,
- ④ $0 < b+c < 360$,
- ⑤ $0 < c+d < 360$,
- ⑥ $0 < d+a < 360$

です。だからどうした!?と思われるかもしれませんが、でもこれはすごいことなのです。例を挙げましょう。(0, 190, -20, 190)は6条件を満たしま

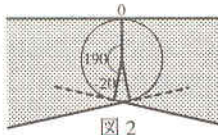


図2

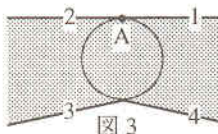


図3



最終回

鶴晶

す。これに対応する四辺形は図2のようなものです。これは四辺形なのか?と思われることでしょう。でも図3のように点Aを内角180の頂点とみなすことで4辺形として取り扱うのです。この用紙で折った鶴は図4のようになります。このように変な鶴も含めて首翼互換性を持つ変形鶴すべてが6個の不等式に象徴されるのです。



図4

(上から見た図)

4成分からなる点(a, b, c, d)は普通4次元の世界でしか表わせません。ところが等式①のおかげで3次元つまり手で触れることができる物として表現できます。図5のよう

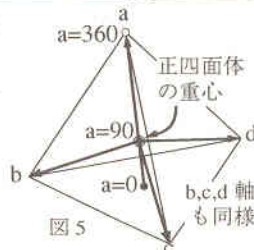


図5

な4座標軸に従って点(a, b, c, d)をプロットします。例えば正方形で折る普通の折り鶴に対応する(90, 90, 90, 90)は中央の点になります。すべての

点をプロットすると図6のような立体が出現します。立方体を3つ並べたものからカドを8箇所削り落としたものですが、この立体を構成する点の1つ1つが首翼互換性を持つ変形鶴に対応します。つまりこの立体は変形鶴の集合体なのです。それ

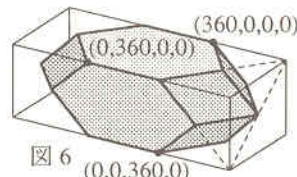


図6

れもただ集めただけではなく、似た形の変形鶴に対応する点は近くに位置するような集まり方をした結晶体のようなものです。これが鶴晶です。

こうして伏見先生に始まり前川さんやJustin氏により発展した変形鶴研究が一応の完成をみました。でもこの先には、鶴心(いつか解説しましょう)の作図、

球面や高次元の変形折

り鶴、応用などやることもたくさんあります。応用の一例と

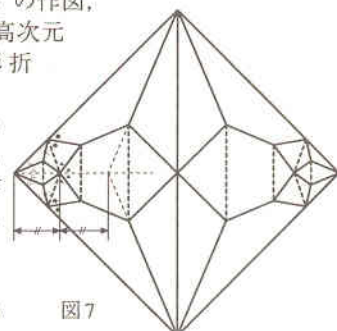


図7

して、昨年最後の作品「飛行機鶴(仮称)」の基本構造の展開図7を紹介して連載を終えることにします。

最後にりましたが、本連載のロゴデザインやレイアウトにお骨折りいただいた羽鳥公士郎さんにこの場を借りてお礼申しあげます。

折紙時評

第8回
爆撃機襲来



まえかわ じゅん Jun Maekawa

前川 淳

■「博物誌、辞典、時評と来て次は折紙百科ですか」と言われました。

◆ 思いもかけないところで折り紙に遭遇することがある。朝刊をめくると、山口真氏のアップが目飛び込んでくるとか、早朝にTVのスイッチを入れると、ヒゲ面の男が悪魔を折っているのが画面いっぱいに映るとか……。朝からこうしたものを見ると、一日がさわやかになる。

さわやか？ 論評は控えよう。……以下もまた、わたしが最近経験した折り紙による不意打ちの一例である。

◆ その日、わたしは、「Just JAVA」(Peter van der LINDEN 著 中田秀基訳 アスキー出版)という本をめくっていた。コンピュータ言語の解説本で、電話帳のように厚い。一般に、コンピュータ関係の本は詰まらないことおびただしい。無人島に持っていくのに一番相応しくない本である。一方、この「Just JAVA」は、これとて無人島に持っていかうとは思わないが、コンピュータ関係の本としては、かなり「読める」本だ。著者のLINDEN氏の執筆意欲が、章末に挿入される「ちょっと息抜き」に傾注されている(?)ためである。献辞からして「ハンモックを発明した功績」によりギリシアの哲人アルキメデスに捧げられている。わけが分からないが、期待が持てるではないか。

もったいぶらずに本論に入ろう。すなわち、この本の551ページに、突然何の脈絡もなく「折り紙カミカゼ水爆撃機」なるものが登場するのである。ご丁寧に1ページ使って、工程図まで書いてある。曰く、「紙吹雪、糊、シュービングクリームなどを部屋に遠くから、空輸して爆撃することができるのだ」なぜこんなものがここに載っているのかはよく分からない。著者が折り紙を好きであるらしいこと以外に、コンピュータの本に折り紙がいきなり現れる理由はほとんど見出せない。「折り紙はリラックスさせてくれるし楽しい。電子を追いかけて続けた忙しい一日の疲れを

ほぐすのにはちょうどいい」とも書いてあるが、どう読んでも単なるこじつけである。折り紙に興味のない読者は、折り紙爆撃機の奇襲攻撃を受けた気分だろう。

わたしは「折り紙に興味のある読者」であるから話は違う。お勉強を放り出して、様々思いを巡らし、さらに実技・実験へと進んだ。

◆ まず、水爆撃機という名だ。これを、水爆/撃機で区切ってはいけない。水/爆撃機、water bomberの訳である。では、water bombとは何か？ 研究社の新英和大辞典には「二階の窓のような高いところから、下の通行人などに落とす、水を入れた紙袋」と書いてある。さすが研究社大辞典、PTAの推薦は受けられそうもない遊びのことが、妙に詳しく説明してある。そして、これは辞書には掲載されていなかったが、「折り紙の風船」も water bomb である。岡村さんが「おりがみ庵ひとりごと」(探偵団新聞34号)でも触れていたが、「風船」はあちらでも伝承作品とされ、その名も water bomb と呼ばれているのである。アメリカやイギリスでは、風船を上記の目的に使うのだ。困ったもんだ。日本の風船が伝播し、海の向こうで危険な兵器に転用されたのかどうか、真相は歴史の闇の中にある。

◆ 次に問題となるのは、風船に翼をつけただけのこの機体が実際に飛ぶかどうかである。とりあえず折ってみよう。使用する紙は7対11の長方形。標準の紙型(1対√2)ではない。かと言って、アメリカで一般的な「US. レターサイズ」でもない。普通の紙を切ってこの紙型にしるとのご指定である。そういう安易な手を使うと作品の評価を下げたくなるが、まあ、それは

置こう。なにとはともあれ、図に従って折ってみる。……と、この図がかなりいい加減で、折り目の角度がまったく違っていたりすることが判明する。「手抜き折り図の前川」として他人の図をとにかく言える立場にはないが、折り紙の経験の浅いひとは、この図だけではまず折れないだろう。とかなんとか、口うるさい批評をまじえつつ、作品は完成した。

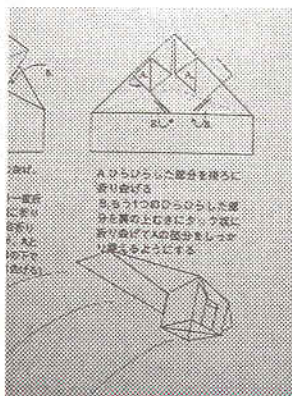
いよいよ実験である。過積載は事故のもとなので、積み荷(水)を体積の4分の1程度にした。これを飛ばす。飛ぶことは飛んだ。が、そこに働いた力はほとんど重力だけであった。飛行曲線は放物線に従い、揚力の存在は感じられなかった。早い話、風船に水を詰めて投げつけたのと変わらないのである。まあ、予想されたことではある。

ただ、次のことは正直に白状しなければなるまい。風船が壁にあたっ

て水しぶきが飛ぶさまが実に楽しいのである。何だろう、この楽しさは？ 熟れた柿を次から次に壁にぶつけて祖母に叱られた昔を思い出した。なお、説明にある「紙吹雪」であるが、風船が閉じた形になっているので、さらに工夫を加えないと効果は期待できない。

◆ かつて日本軍は、風船爆弾なる兵器を考えた。和紙でつくった

風船に爆弾を積み、偏西風に乗せてアメリカ大陸まで飛ばすというしろものである。今回突然飛来した水爆撃機は、平和な時代に地球を一周して戻ってきた風船爆弾である。カミカゼなる言葉を安易に使う神経には抵抗があるが、あまりのバカらしさに、わたしはこの作品に一票を投じたい。ただ、室内での飛行実験は控えたい。



Peter van der LINDEN
The KAMIKAZE water bomber

第2部第3回 名作の条件

羽鳥 公士郎

はとり こうしろう

Hatori Koshiro

折り紙の哲学

アニメーションをWWWで公開しています。

<http://www.jade.dti.ne.jp/~hatori/>



前回、折り紙の条件を次のように述べました。

「折り紙とは、紙を折る前には明らかになっていなかったかたちを、紙を折ることによって引き出すことである。」

この表現を使えば、名作とは、よいかたちを、よいしかたで引き出したものだといえるでしょう。

例えば、紙を折って馬をつくりたいとします。そのとき、「よいかたち」とは何でしょうか。実物の馬と寸分違わぬプロポーションをしていればよいのでしょうか。

つくりたいものが「馬の模型」であれば、そうです。実物の馬とカドの数を合わせ、カドの位置を調節して、カドの長さを計算すれば、すばらしい馬のミニチュアがつくれます。

しかし、あなたのつくりたいものが「馬の折り紙」ならば、話は違います。馬の折り紙は、実物の馬と見た目が似ている必要はまったくありません。馬の模型に耳がなければ欠陥品ですが、馬の折り紙に顔がなくても、そのこと自体は問題にはなりません。笠原邦彦の「象」には牙がありませんし、拙作「鳥」には羽がありません。

もう一度折り紙の条件に戻って考えてみましょう。折る前の紙は、あるかたちをしています。それは正方形かもしれませんが、そうでないかもしれ

ません。どちらにしても、紙を折るごとにそのかたちが変わってゆきます。そうしてできたかたちは、いわばもとのかたちの中に含まれていたかたちです。ここで、最終的なかたちがもとのかたちの中に含まれているということが簡単にみてとれる場合、例えば正方形の紙を三角に半分に折って「山」といった場合、そのようなか

たちを引き出したところでおもしろくも何ともありません。

折り紙にとっての「よいかたち」を一言で表すとすれば、「意外なかたち」といえるでしょう。不切正方一枚のカブトムシをつくるのがすごいことであるのは、単にカブトムシをつかったからではなくて、正方形からカブトムシをつかったからです。はじめからカブトムシのかたちをしている紙を使ってカブトムシをつかったのでは、名作とはいえません。

正方形やそれと同じような単純なかたちをした紙から、実物とそっくりなものを折ることは、それ自体でなにがしかの価値があるといえるでしょう。正方形の中から6本の足と2本の角をもつカブトムシのかたちを引き出してくることには意外性があります。しかし、意外なかたちが引き出されていれば名作であるということはできません。カブトムシを折るとき、はじめに紙をくしゃくしゃに丸めて、ピンセットで

必要なカドをつまみ出すようにして折ったとしましょう。こうしてできたカブトムシのかたちがもとの正方形の中に含まれて

いるとは驚くべきことで、意外性があるといえますが、このような作品が名作だと考える人はいないでしょう。

よい引き出したかを一言で表すとすると、「素直なしかたで」といえると思います。素直さには2つの側面があると考えられます。まず、折りの工程は、物理的存在としての紙に対し

て素直でなければなりません。紙が途中で破けやすかったり、特殊な紙を使わなければ折れない作品は低い評価を受けるでしょう。また、糊を使わなくてもできあがりのかたちが保たれる作品、例えば折り鶴などは高い評価を受けるでしょう。

もう1つの素直さは、もとのかたちに対する素直さです。不切正方一枚の作品が、紙の多くの部分を無駄に

使っているとすれば、正方形の紙を使った意味がありません。また、動物の前半身に紙の多くが集まって、後半身が薄っぺらになってしまうというのもあまりいい

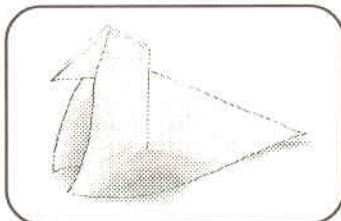
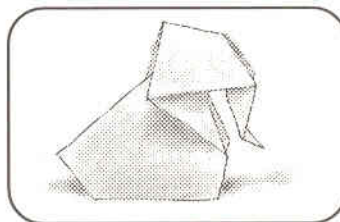
こととはいえないでしょう。

まとめると、名作の条件は、「意外なかたちを素直なしかたで引き出すこと」ということができるでしょう。

さて、ジャクソンの一線折りですが、前回も述べたように、あのようなかたちが正方形の中に含まれているというということは、一線折りの作品をみななければ気がつきません。また、折り工程は実に素直です。素直さに関しては、ほかのどの折り紙作品にも劣らないといってよいと思います。ただし、一線折りの作品がすべて名作であるわけではありません。一線折りの技法を使ったからといって必ず名作になるとはいえません。

個々の作品を評価するには、このような一般的な議論は明らかに不十分です。私たちは、個々の作品について、そのつどそれぞれに評価をしてゆかなければなりません。

そのときに、人によって評価が異なることもあるでしょう。大切なことは、自分がある作品を好きになったとき、どうしてその作品が好きなのかを考えてみるということです。



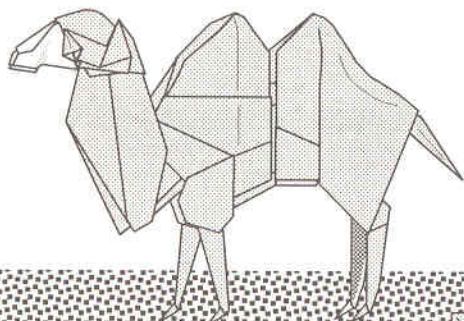
フタコブラクダ

川畑文昭

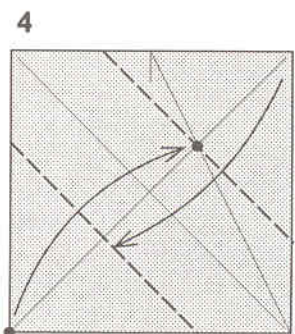
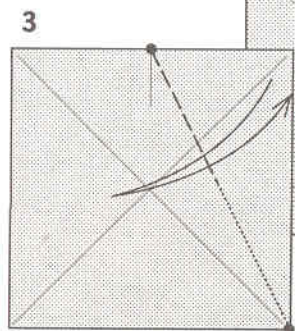
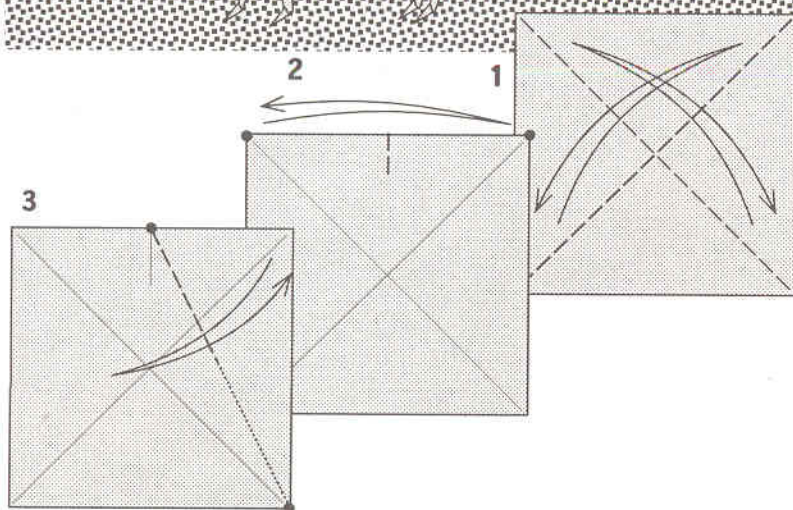
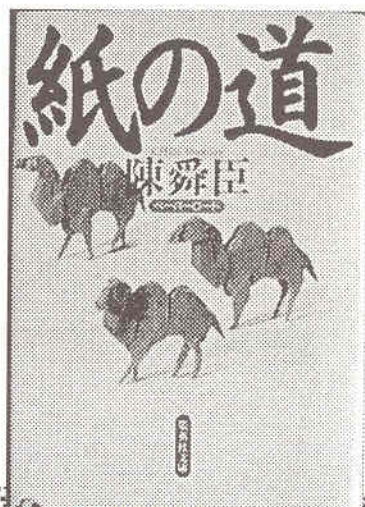
By Fumiaki Kawahata

◇創作 1996

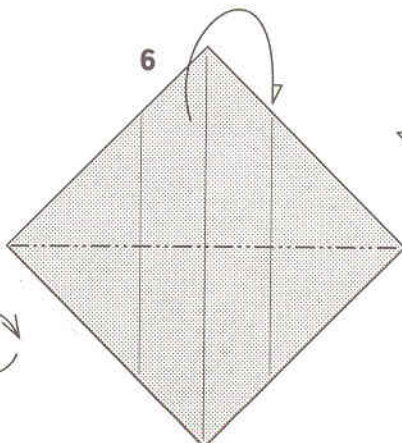
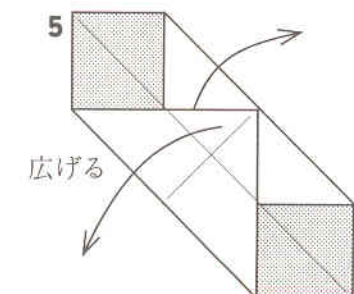
◇作図 1998



集英社文庫
「紙の道」陳舜臣著
の表紙用に創作。

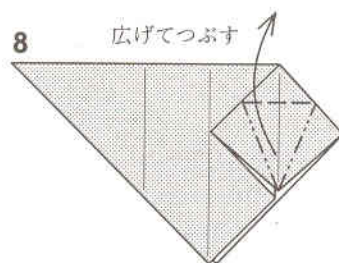
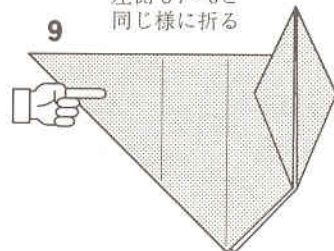


3ステップでつけた
折りすじを目安に
1/3に折る

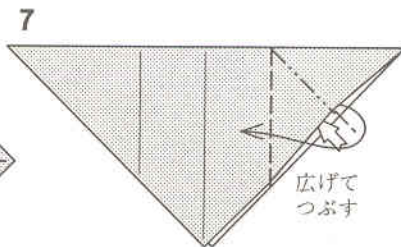


4

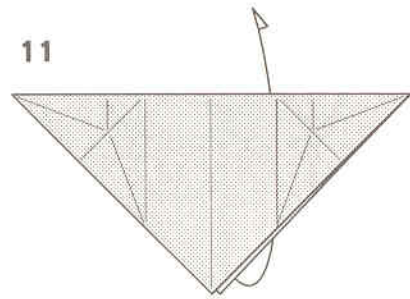
左側も7~8と
同じ様に折る



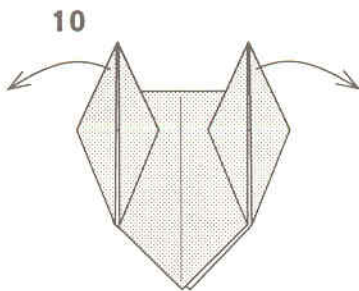
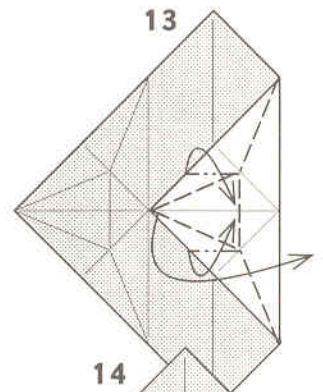
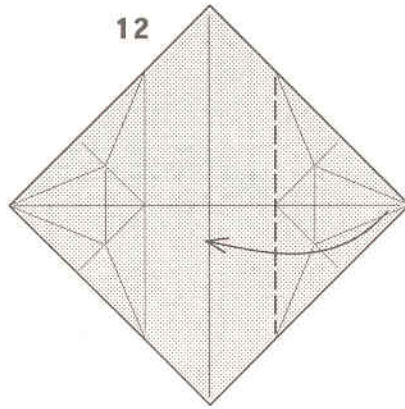
広げてつぶす



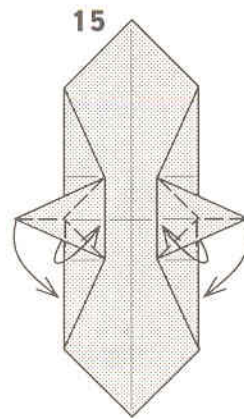
広げて
つぶす



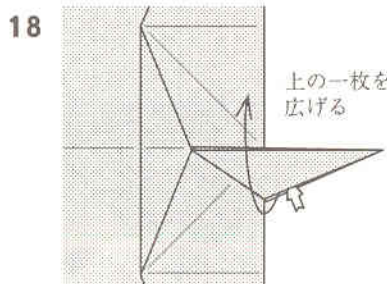
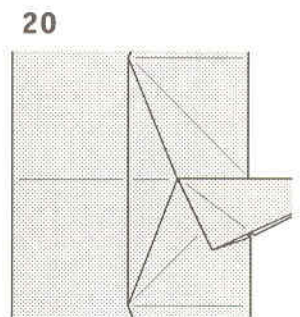
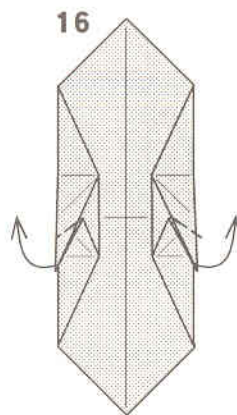
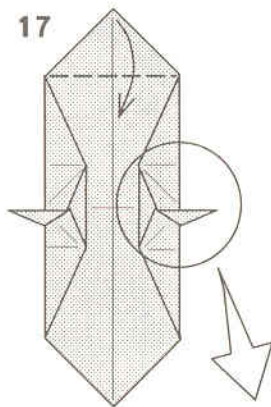
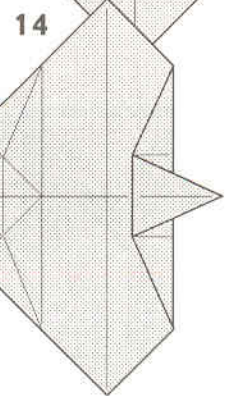
広げる



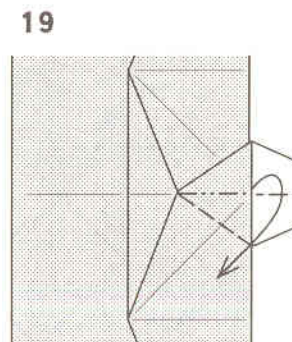
戻す



左側も12~13と同じ様に折る

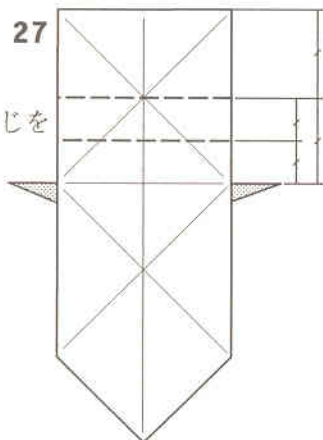


上の一枚を広げる



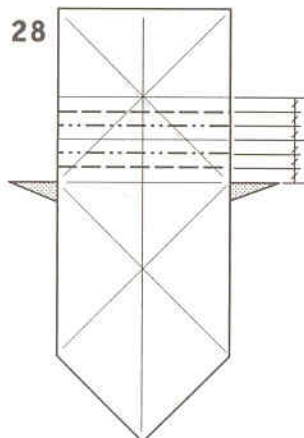
27

折りすじをつける



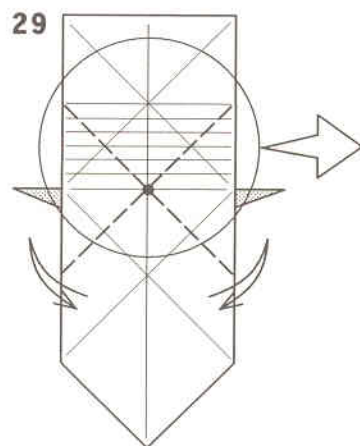
28

それぞれ3等分の折りすじをつける



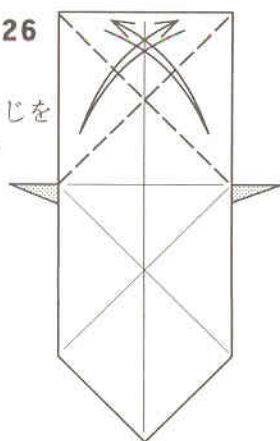
29

折りすじをつける



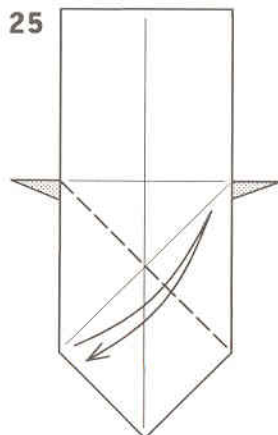
26

折りすじをつける



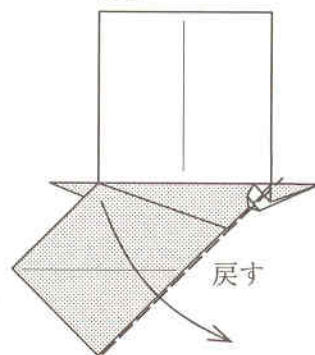
左側も22~24と同じ様に折る

25



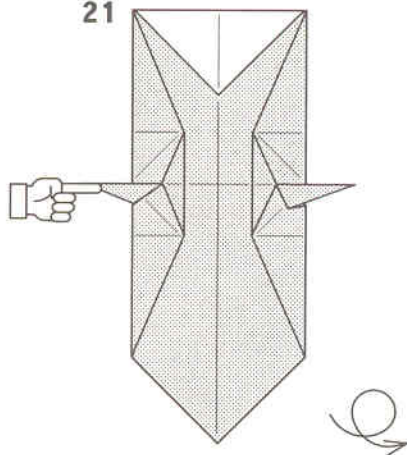
24

戻す

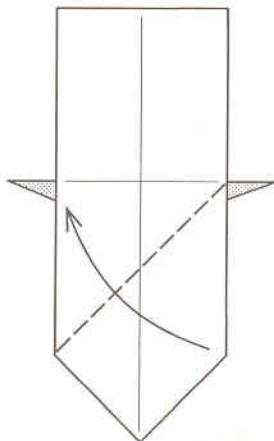


左側も18~20と同じ様に折る

21

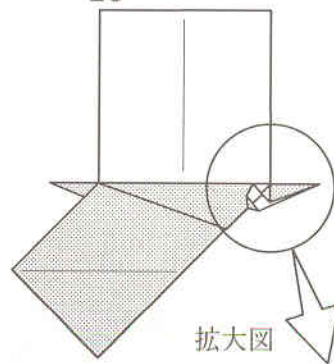


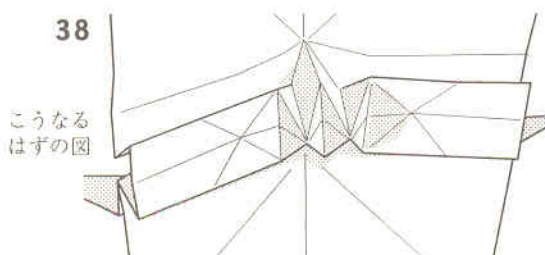
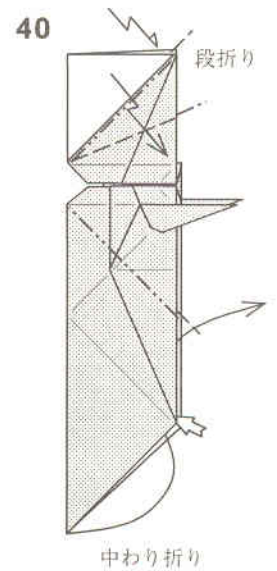
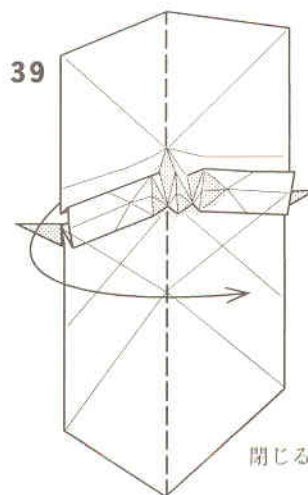
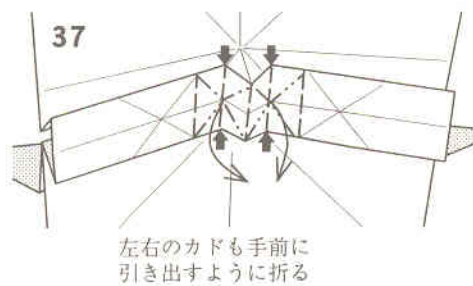
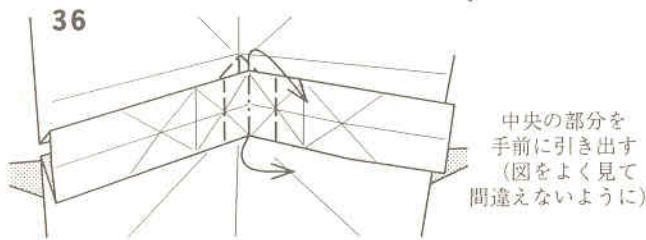
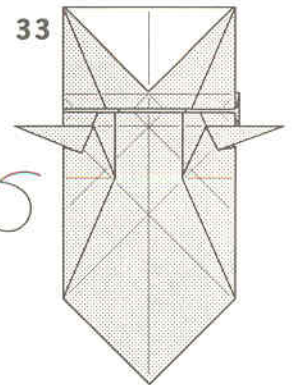
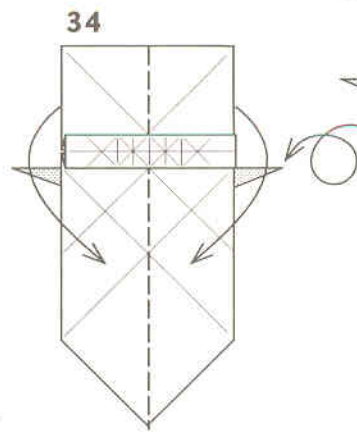
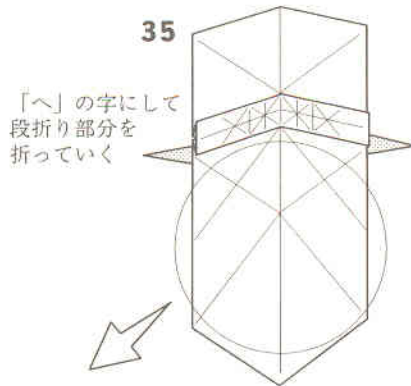
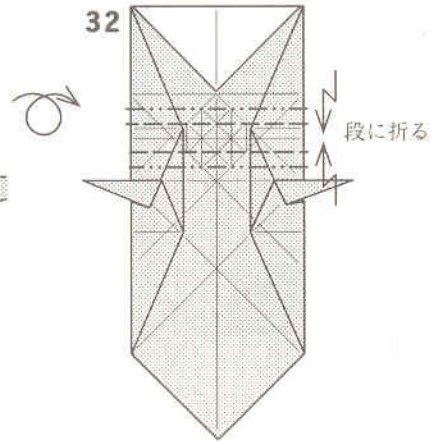
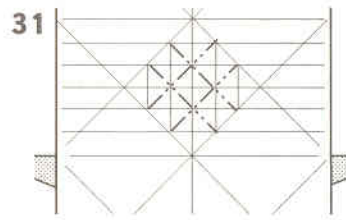
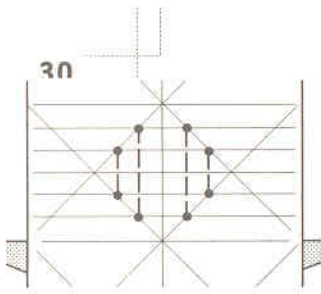
22



23

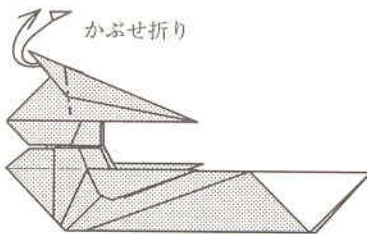
拡大図





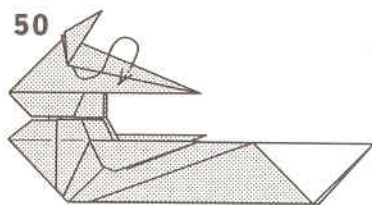
49

かぶせ折り

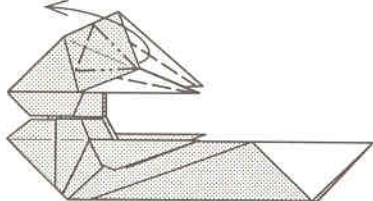


下の紙に差し込む
(向こう側も同じ)

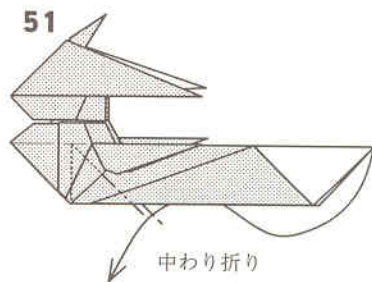
50



47

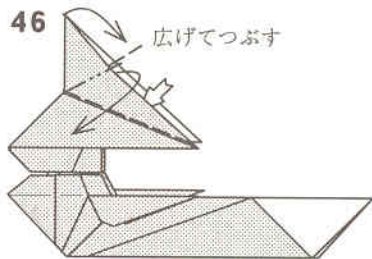


51



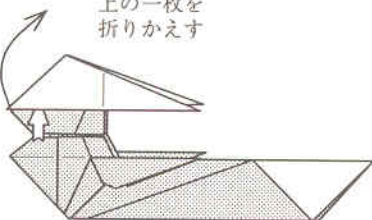
46

広げてつぶす



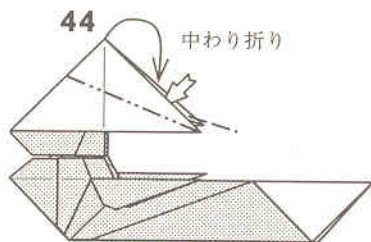
45

上の一枚を
折るかえす

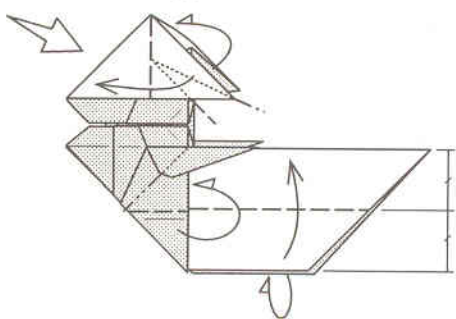


44

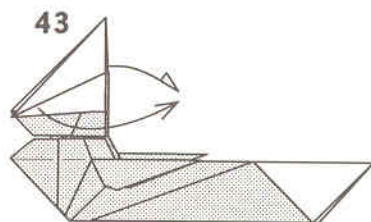
中わり折り



41

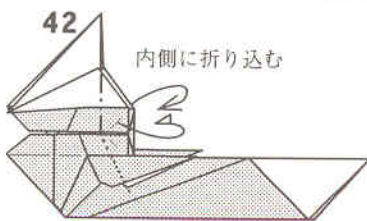


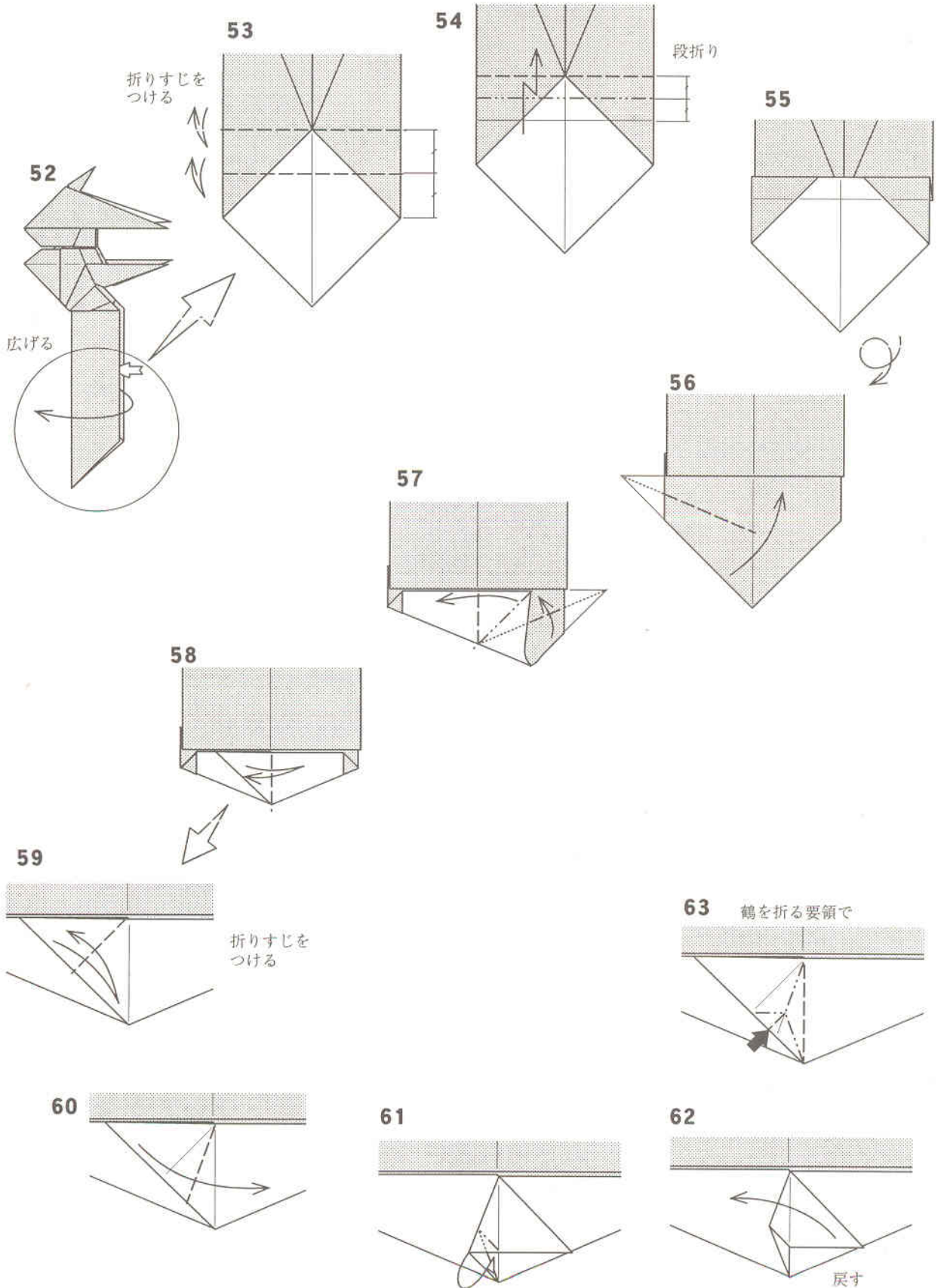
43



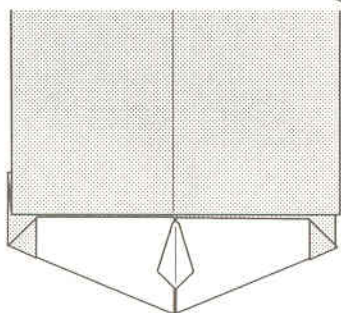
42

内側に折り込む

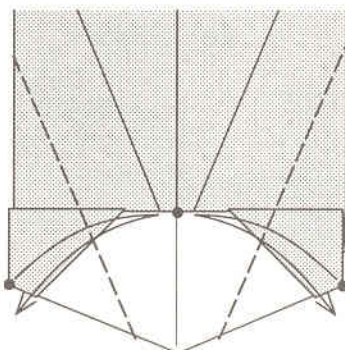




71

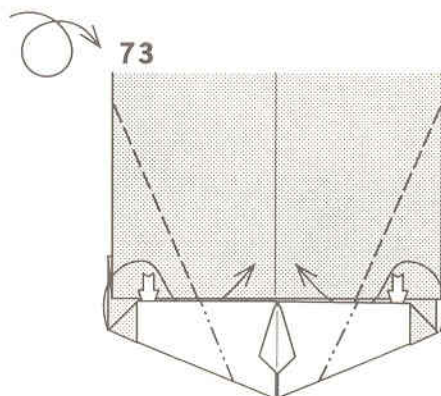


72



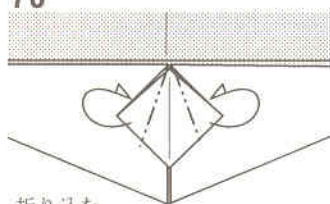
折りすじをつける

73



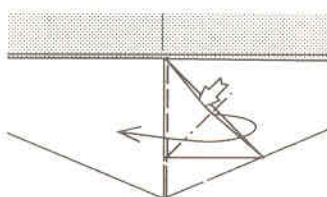
つけた折りすじで
中わり折り

70



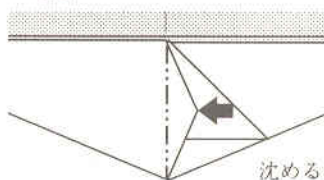
折り込む

69



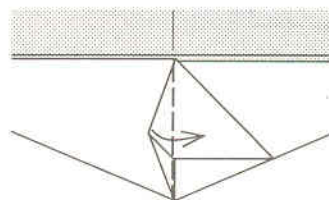
広げてつぶす

68

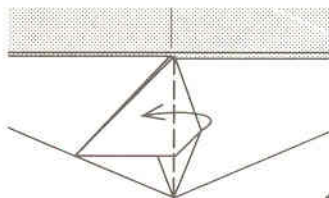


沈める

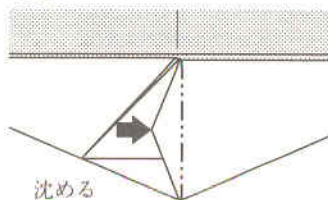
67



64



65

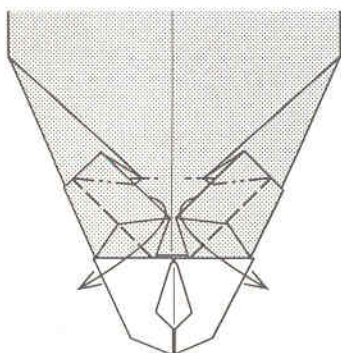


沈める

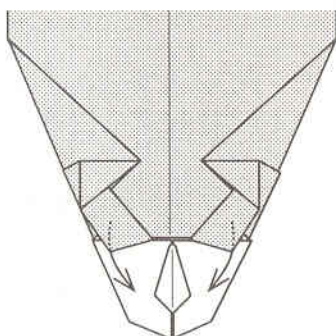


もしかしたらラクダは
アバトサウルスと
ステゴサウルス
が掛け合わされた
子孫かもしれません

74

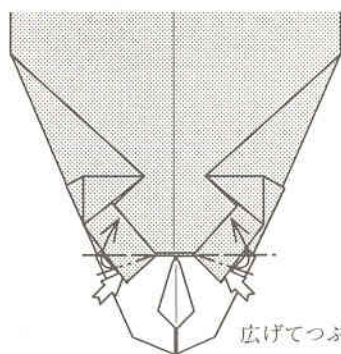


75



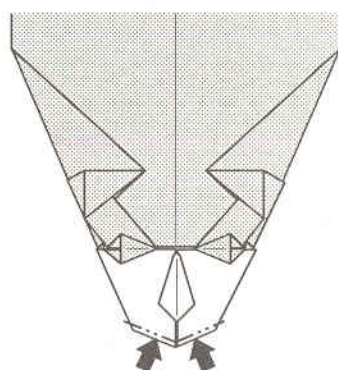
下の紙を引き出すように
ずらして上の紙に合わせる

76



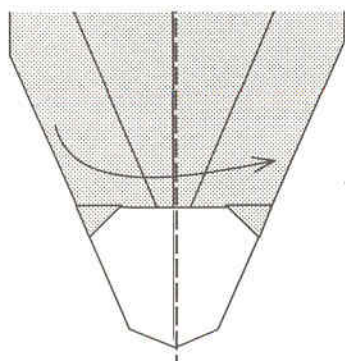
広げてつぶす

77

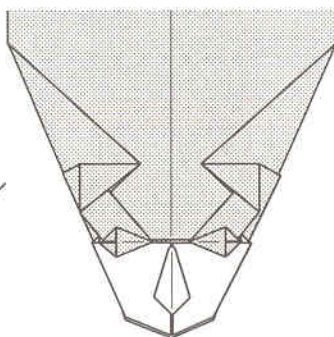


先端を沈めて口を作る
(この折りは小さい
紙の場合省略して
もかまわない)

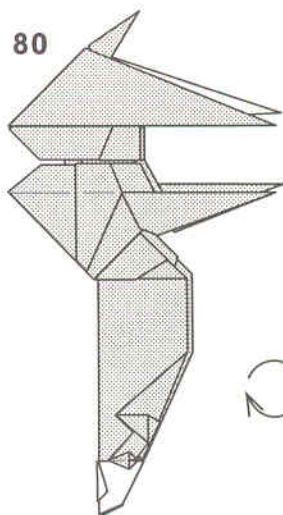
79



78

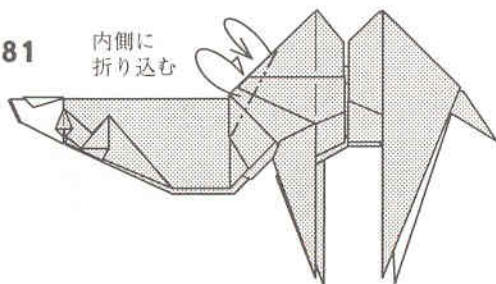


80



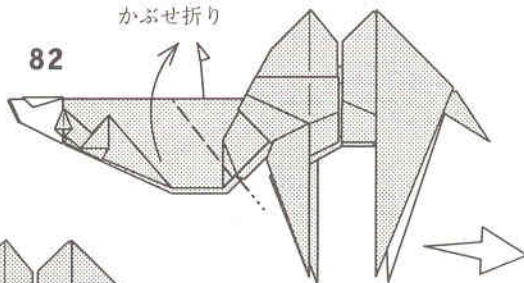
81

内側に
折り込む

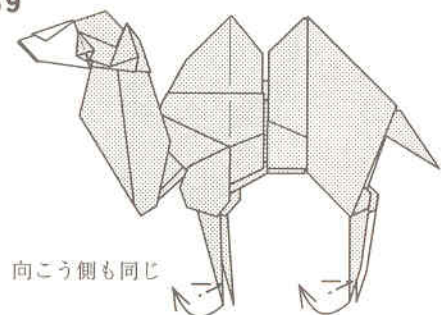


82

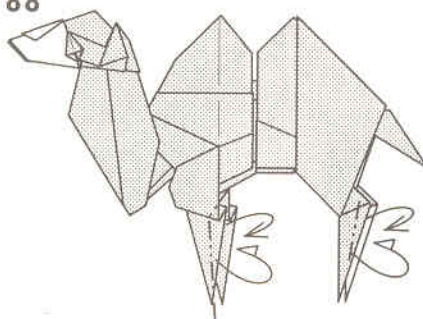
かぶせ折り



89

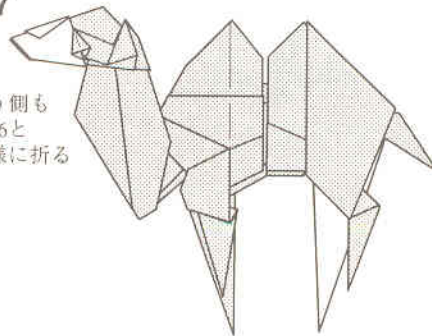


88

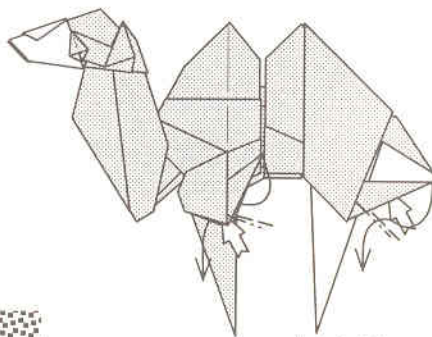


87

向こう側も
85~86と
同じ様に折る

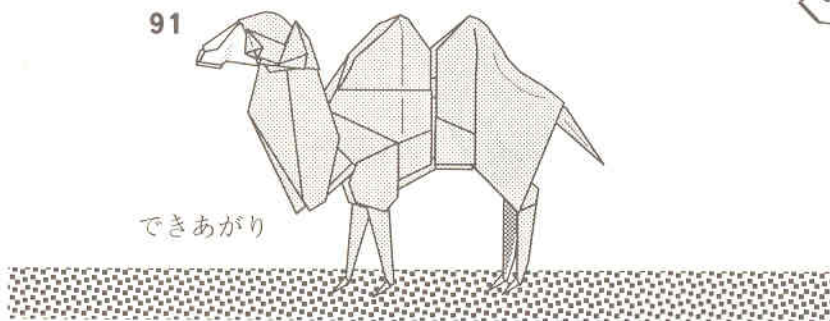


86

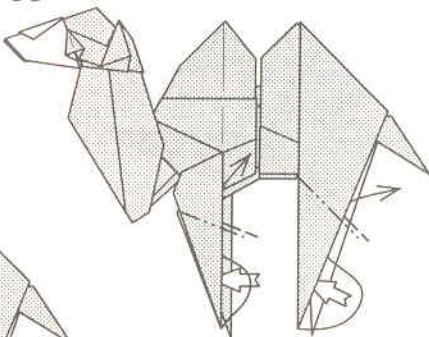


91

できあがり

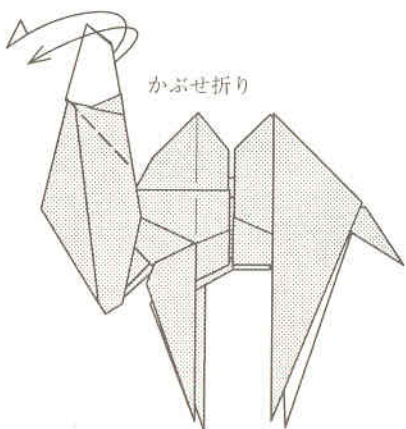


85



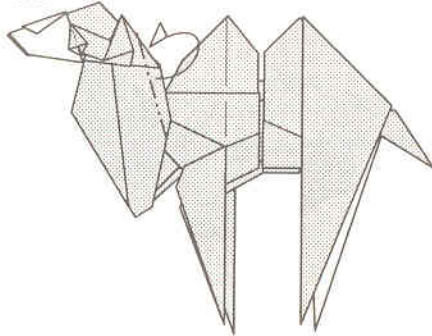
83

かぶせ折り



84

内側に折り込む



研究紹介(1) イタリア

3年前に大津で開催した第2回折り紙の科学国際会議の論文集が昨年夏完成しました。折り紙の数学、工学、形の科学、教育、芸術、歴史など中味は多彩です。

この会議に先立つこと5年、第1回が1989年12月イタリア北部のフェラーラで行われました。主催者はパドヴァ大学物理学教授の藤田文章先生です。この大学はガリレオが教鞭をとっていた事で知られるヨーロッパ有数の大学です。日本では考えられませんが、イタリアの大学ではずば抜けた業績を残した学者の研究を定年退官後も補佐する制度があります。先生はこの制度が適用されて、73歳の今も精力的に研究活動をなさっています。祖国を離れて40年、今はイタリア国籍となった先生の折り紙に寄せる想いが、第1回折り紙の科学国際会議を生みしました。

私は折り紙講習でブラジルに行ったことがあります。サンパウロでの講習会には日系1、2世のご老人がたくさん参加されました。500km遠方から夜行バスで駆けつけた方もいらっしゃいました。

初めて藤田先生にお会いした時、ブラジルで講習した時、先生や日系ご老人の情熱が理解できませんでした。でも今はわかります。異国の地にある人々にとって、折り紙は祖国の香、祖国の誇りなのです。

大津の会議論文集は555ページの分厚い本です。論文を寄せられた方は折り紙に寄せる想いを一紙懸命書かれています。80%英文、一冊5000円です。興味ある方は川崎へご連絡ください。(川崎)

Proceedings : Origami Science & Scientific Origami is published. If you want to get it, please access Toshikazu KAWASAKI (Sasebo College of Tech., Okishin 1-1, Sasebo, Nagasaki, 857-1193 Japan)
e-mail:kawasaki@post.cc.sasebo.ac.jp

すきまの折紙を求めて 長崎

若手作家を中心とした複雑で難解な折紙創作があります。これらはつきつめると、多くの角のエレガントな折り出しです。この逆は少ない面による折紙です。これが私の目指す簡単折紙です。

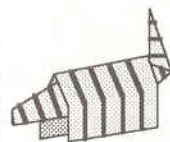
私の好きな竹川青良さんの「鶴と亀」では、鶴亀ともに三つの部位(面)から構成されていると考えられます。伝承の折鶴は、頭、胴、尾、両翼の五面です。いずれも面と面とがはっきり別れていて心地よい作品です。

折紙は、絵画や彫刻とは逆で、抽象から具象へと発展してきた独特な芸術だと思います(直線的な折目からは抽象にならざるを得なかった)。

私は折紙を始めて14年になります。折り紙のすばらしさを多くの

するために張子の虎を考えました。はっきり別れた三面からなります。私はこれからも、簡単折紙を意識しながら先人が創ってきた作品のすきまを求めて、誰もが折れる簡単でオリジナリティーのある作品を探していこうと思います。

張子の虎の折図が必要な方は長崎市小瀬戸町114 (Tel/Fax 095-865-1291)浜田勇まで。(浜田)



張子の虎

新・陶紙 佐世保

焼くと陶器になる紙を陶紙といいます。従来の陶紙では紙の繊維を陶土が包んでいたため、焼くと中に無数の繊維状の空洞ができてろくて実用にはなりません。

田島純雄氏が12年かけて作りだした陶紙は特殊な和紙と土を層状に重ねたもので、スプレーで湿らせながら折ることができます。従来のものより薄く折りやすい丈夫で、薄い陶紙で折った鶴は水に浮きます。また電子レンジによる簡便焼きもできます。田島氏は他に、上薬なしで玉虫色の光沢を持つ陶器も開発しています。昆虫折紙に使えそうです。鹿児島折遊では陶紙による折り紙教室を今春より始めます。問い合わせは佐世保市木風町693-1(Tel 0956-22-1162)田島純雄。(編)

New Paper Ceramic

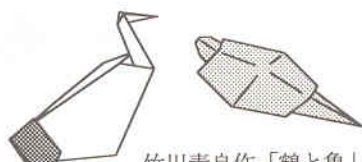
Sumio TAJIMA (Kikaze 693-1, Sasebo, Nagasaki, 857 Japan) invented new paper ceramic. It is thin and easy to fold(wet folding). ORIZURU made of it can be on water. He also invented rainbow colored ceramic without coating. I think it will be useful for origami insects.

A paper ceramic origami class will start soon by Mariko MIYAMOTO who is the president of Kagoshima Oriyu.



に知らせるために、長崎港まつりでの展示、留学生の集いで折紙教室、折紙の会「長崎折遊」の発起、長崎異人館での展示、堤政継さんらとの「九州コンベンション」開催、を行ってきました。これらの活動を通じていろんな人と知り合う事ができました。私にとって折紙はなくてはならないものになりました。

私は毎年干支を折ります。虎は折紙には難しい題材です。簡単折紙に



竹川青良作「鶴と亀」

九州版 改め 地方版。地方団員が自由にこのページを活用できるよう名称変更しました。地方の活動、折り紙論など何でも構いません。気楽に投稿してください。分量の目安は1段です。初回は、締め切りに遅れるは、編集を西川団長にさせていただくは、東京編集部に迷惑をかけてしまいましたが、今回は完成原稿を送りました。1ページ丸々引き受ける方は完成原稿を東京本部に送ってください。連絡先：〒857-1193 佐世保市沖新町1-1佐世保高専 川崎敏和。(編)

Rabbit Ear つまみおり

折紙探偵団新聞が第9期目を迎えます。継続手続き宜しくお願いします。

お便り・情報募集中

折紙探偵団新聞では、読者の皆さんからの情報、折図、マンガ、イラスト、写真などを募集しています。また、探偵団新聞やコンベンションについて望むこと、ご質問等どんどんお寄せ下さい。送付方法は、郵便でお願いします。

〒113-0001 東京都文京区白山 1-33-8-216

ギャラリーおりがみはうす内

探偵団新聞「情報・折図」係まで

●探偵団ミニ情報=Origami USAのコンベンションに参加する話が出ています。6月26-29日ニューヨークです。前後に余裕をとって、約1週間の予定です。詳細は次号でお知らせしますが、予定される方はお早めに事務局にお問い合わせ下さい。

鉢カバーをどうぞ

1月6日(火)にNHKのテレビ番組「おしゃれ工房」に布施知子さんが出演されました。ご覧になりましたか。布施さん一家総出演の楽しい番組でした。

「紙を折っただけでこういうのが出来るんですね。」と感嘆するキャシー中島さんに「不思議ですね」と返答した布施知子さんに、最高に真摯なおりがみ人を誰もがみつけた。そんな冒頭であった。「まあ失敗したら失敗して線が付くだけなんです。」この言葉もすごいよな。突き抜けてる。深すぎるぜ。

ところで今回のNHKおしゃれ工房は、七草粥の特集週の一環だったのですな。なるほど。でもさ、でもさ、布施さんの箱は布施さんの箱なのだ。「布施さんの箱を植物の鉢カバーに……。例えば、この季節は七草……」と、これが納得し易い順序なんだな。しかも「基本の鉢を小箱にして。こんな使い方がいいですよ。」っていわれてもなあ……。布施さんの箱だもの、鉢植えをカバーしたってお鉢風にしたって勿論嬉しいさ、決まってるじゃん。まったくもう、一般ピープルは遅れてるんだよな。でも、そんな事にこだわる筆者(要は、「ハチ」「ハチ」の連呼が耳にさわって戸惑ったのだ。)よりも布施さんは大きい。鉢カバーにした時の箱の耐久時間を花の命の長さに例えた所なども、知子さん一流のエレガンスに満ちていた。木のぬくもりのネコのプローチも、とても魅力的だった。そう言えば「多



テレビからのスナップ

少の誤差は紙が吸収してくれます。」この発言も、しみたなあ。哲学だ。

それにしても、やはりビジュアルって成果を上げるよね。折り愛でられ遂げられる、緻密な理屈に基づく和紙の成長と発達が、理屈抜きに視聴者にバッチリ伝わったもん。箱の底が納まる場面(25分中3回あった)は、感動的で官能的だった。ズームアップで映った作品のひとつひとつは、大きな宝石とtoo muchあざやかな爪の色で飾りまくり

NHK「おしゃれ工房」に 布施さんが出演

の番組パーソナリティーの手の何倍も何倍もきれいだった。きゅっとしめる蓋の様子も、紙の粘り(布施さんの語を借用)を体感する思いがし、テレビの前の全国の人々にも「うれしい菌」が……。

お連れ合い(版画家、鳥海太郎氏)とのお散歩のショットもよかった。各自の両手をうしろに置いた、偶然と思しき同じポーズのお二人が、大変印象深い。そして、まことピトレスクな山景色にそびえ構える超・純日本家屋こそ、八坂村塩の貝、あれが長野のお宅。「(をる)」の創刊号の写真で思いをはせたものだった。)おコタの部屋ではヤカンからうっすらと湯気がゆれていた。窓の外ではおりがみそっくりの枝木の芽が春を待っている。スタジオの布施さんの後ろには、鳥海さんの作品が映っていた。(あれは、そう!「ひまなし山暮し」の表紙の作品。)

追伸: 私はいつか、あのランプシェードと共に暮らそうと心に決めた。その壁には鳥海さんの作品「N嬢」を飾るのだ。(直)



「おしゃれ工房」テキスト
1月号より

折紙探偵団グルメツアー

折紙探偵団の各種イベント、そして新聞記事の内容は、おもに例会の席での思いつきの発言で決まる。これが、本当に思いつきなのである。600人もを会員を抱える団体としては、あまりのイイカゲンさに批判もあると思うが、つい最近もこのノリでひとつの定期的なイベントが決まった。題して「折紙探偵団食事会」。またの名を「探偵団グルメツアー」。毎月例会前の昼食が、この食事会にあてられる。第一回は11月で、店は駒形の鰻の老舗「前川」(前川某の親戚ではない)であった。そして第二回は、さきの1月末日に築地の料亭「らく万」で開催された。この二回目というのが重要で、これにより「定期的な行事」になったわけである。築地の料亭というと、いかにも高級そうである。実際、店構えも板塀に囲まれて、夜に入店したら高そうだが、ランチは、大蔵省の役員向けではなく、ビジネスマン向けであり、はっきり言って安い。味も申し分ない。

第二回がこの店となったのは、団員の綿田治紀氏が、この「らく万」の四代目であるためである。店内には、吉野氏のティラノサウルスの骨格などが飾られており、折紙好きの店であることが知れる。今回のメニューは松花堂弁当。約15人ほどの参加者はみな満足したことだろう。

お便りコーナー.....

福井県の池田浩貴さんからのお便りです。

先日、県内永平寺町の図書館に、仏像・公家・植物(オモト)の折紙紙3点が展示されているのを見かけました。詳しい説明がなにも付されておらず、公家と植物に関してはよくわかりません。ただ、仏像の顔が「をる」に掲載されたものに似ており、手の指の折り出しなどから見ても西川誠司氏の作品ではないかと思えます。・・後略。

折紙紙で「蘇る」とは？

行動する熟年のための情報誌「蘇る!」98年2月号(発行・経済界)の「特集/同好サークルに参加する方法-遊び仲間を作る。」において、折紙探偵団が紹介されました。他にも野鳥野草、ペーパープレーン、ロープ、ダイビング、料理、万華鏡、イルカ、猫、ブリッジなど実に様々な同好会が紹介されています。われわれの会員数700人(ほぼ実数・水増しは消費税程度)は、おいらく山岳会(2000人)、日本シャーロック・ホームズ・クラブ(1300人)について3番目です。まあ、数十人程度のサークルというのはわれわれの例会参加者数(30人前後)のようなものかもしれませんが。

展示中だった布施氏の面と、小松くんのミミズク(フクロウじゃないよ)、そして山口氏の写真が紙面を飾りました。記事内容はいつもの通りのごく無難なものです。唯一山口氏が読者層を意識してか

調理に腕を振るう綿田氏の姿も新鮮だった。

・・・と、遠方の団員のひとたちには、よだれしか出ない話で申し訳ない。上京の折りには、ぜひ「らく万」に寄ってみたい。「折紙探偵団の団員です」と言えば、皿がひとつ増えるかもしれない。・・・と、無責任なことを書いたりして。(文責 前川)

◎お答えします。

良くわかりましたね。ご指摘通り、仏像は私の作品です。3枚による複合です。やはり「顔」でわかったのでしょうか。「手の折り出し」がともありましたが、この作品に用いた手の表現は公表されたものがないはずで、手のひらの表現を主眼にしたものになっていたので、私の「をる」での拙文が連想されたのでしょうか。

ちなみにあとの2点はお分りになりましたか？公家と称されたものは北條高史さん、植物は、目黒俊幸さんが作製しました。2年ほど前におりがみはうすの方にそんな依頼があったのです。(S. N.)

「一番多いのは中高年の女性です。」などと発言しておりました。実態はどうか？次号あたりで久々に会員統計データを出してみましょ。おつといけない、例会、コンベンションのことは書いてあっても、探偵団新聞ちゃんと隔月発行って出てないぞ。これきっちりやってるサークルは少ないんだけどな。(き)

友達は断ってはいづれない、すくなくとも夢見てるサークルがある。



表紙イラストは またまた同好会 藤原ていぞう
「探偵団」いざなり読者されてもしくら
とつきのスピーチにはまる
名画・名句の複製集
わずか350円で完成分
部会の温泉・緑地が嬉しい
「お便り」で折紙探偵団の
東京人が置山の手自然に遊ぶ



特集
遊び仲間をつくる。
同好サークルに参加する方法
表紙イラストは 藤原ていぞう
表紙イラストは 藤原ていぞう

インターネットギャラリー 作品募集

更新の頻度があまりあがらないのに、たくさんのかたに見ていただいている探偵団のホームページ。ギャラリーの充実に向けて、以下の募集をします。あなたも自信作を世界に向けて発表してみませんか？以下の項目を記載して、作品の写真とともに探偵団事務局(おりがみはうす内)まで送ってください。

作者、作品名、創作年度、紙型、紙使用の有無、複合の場合は紙の枚数、作品に関するコメント、折り図の有無、折り図の掲載誌(書)。

ネットからも投稿できる仕組みも予定していますが、デジタルカメラなんて持っていないというひとは、ぜひ上記の方法で。シンプルな作品も大歓迎。

ホームページ公開中

公開 URL は、
<http://www.ask.or.jp/origami/> です。団員パスワードは、大文字/小文字区別して、Pyramidです。

●探偵団ミニ情報=探偵団ミニコンベンション in 静岡ー11月開催を目標に準備室(静岡市)を作ります。広くお手伝いしてくれる人を募集しています。探偵団事務局まで連絡を

おりすじ

折紙と音楽

丹呉 岳春

朝起きて一番にすることはCDをかけることで、夜寝る前にすることはCDを止めること、という位なので、私の部屋にはいつも音楽がある。止めるのを忘れ、リピートのまま出掛けることもしばしばで、帰ってきてドアの鍵をはずそうと立ち止まった時、家の中から音楽が聞こえてきて「またかけっぱなしにして出掛けてしまった」と思うこともよくある。もちろん、食事の用意をする時も、食事をする時も、テレビを見る時も(テレビのボリュームは常に一番小さくしてあるので聞こえない)、勉強をする時も、風呂に入るときも、折紙をする時にも音楽がかかっている。しかし、バッハ以外の音楽は、モーツァルトも、ベートーベンも、サティもほとんど聞かないし、バッハでも、グレン・グールドとヘルムト・ヴァルハ以外はそれほど好きではないので、レパートリーはかなり少ないと思う。

朝起きてすぐと、夜寝る前には、

グールドが81年に録音した、「ゴルドベルグ変奏曲」を聞くことにしている。重さも、色も、厚さもはぎとられたかのように存在しない音。

勉強するときや、本を読む時や、折紙をする時など、何かに集中する時には「平均律クラヴィーア曲集第一巻」。バッハの作品の中でもとりわけカタカタした感じがあって、何かに集中すべき時には、最も具合がいい。演奏はグレン・グールドか、リヒテルのものがいい。(折紙には、「平均律」よりも、「二声のインベンションと三声のシンフォニア」の方がむいていられるかもしれない。演奏はグレン・グールドがやはり一番良いと思う。)

山口さんに「折り紙と全く関係ない」と言われてしまいそうなので、折り紙の事。私が探偵団を知ったのは、妹がとっていた「毎日小学生新聞」の山口さんの連載なのですが、私以外に、これで探偵団の存在を知ったという人はいませんか?

北條高史個展



北條高史氏の作品展がギャラリーおりがみはうすで開催されます。

●3月2日(月)～

10:00～18:00(日・祭定休)

(口上)

今折っている作品。「それを折り紙で作ること」に意義があるのだろうか。そして、ぴったりぴったりと折っている幾何的作品だけが折り紙という方法に適したかたちなんだろうか。ほかにも「折り紙でしかできないこと」はないだろうか、なんて身の程知らずことを考えつつ試行錯誤していた時期があった。(いきなり問題発言!?)そうしてたどり着いた方針のひ

とつが「折り紙特有の空間感」だった。…とかなんとか言いつつ、「紙にムリをかけまくる複雑作品」もまだまだやり足りない。てな具合で、新作を含め全編「俺はこれがやりたかったんだあ～!!」という独りよがりアンド親馬鹿ならぬ作者馬鹿根性丸出しの個展。皆様のご来場をお待ちしております。

折紙探偵団定期会のお知らせ

◆2月の例会は、2月28日(土)2時から北條高史氏の折り紙教室があります。◆例会の前に探偵団グルメツアーがあります。今回は、浅草「なんじゃもんじゃ」探偵団の山田氏の店です。現地集合11時30分 参加希望者は事務局までハガキで申し込んで下さい。◆3月の例会は、3月28日(土)2時から西川誠司氏の折り紙教室があります。◆例会の前に探偵団グルメツアーがあります3月は、キャピタル東急ホテル内「レストランおりがみ」を予定。詳細は事務局でご確認下さい。

ひさびさに登場!

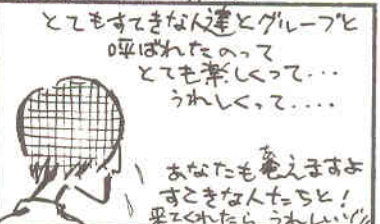
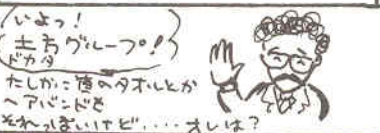
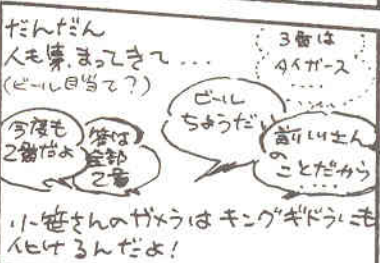
折り紙探偵団

作: 山梨雅弘

探偵団コンベンション
懇親会の巻



ビーしーケーヌを
かこんで...
カンパニー!



定価 300 円

発行・折紙探偵団

〒113-0001

東京都文京区白山1-33-8-216

ギャラリーおりがみはうす内

Phone (03) 5684-6080

発行人・西川誠司

編集人・岡村昌夫